

活 動 報 告 書			作成者 開沼 敬三
活動名	もりハグ！見学&交流会 in 相模原木もれびの森	2025 年 6 月 25 日 10 : 00～14 : 00	
場所	大野台公民館/木もれびの森	参加者 (敬称略)	平野 本田 黒岩 開沼 計 4 名
概要	2025 年 5 月 15 日に（公財）都市緑化機構の『もりハグ！事務局』より平野理事長にメールにて、『6 月 25 日（水）の定例活動を「もりハグ！見学会」として参加させていただくことは可能でしょうか。「もりハグ！見学会」はもりハグ！にご登録いただいている団体を中心に各地で森づくり活動に取り組んでいらっしゃる皆さまの相互による情報交換や研鑽を目的に実施しています。』との打診があり、理事会にて承認し、本日に至った。 本日は雨天のために定例活動が中止となったため、大野台公民館で開催し、午後に現地視察ということになった。 参加者：市川山季の会（2 名）、NPO 法人北本雑木林の会（1 名）、一般参加（1 名）、国土交通省（2 名）、ENEOS（株）（2 名）、（公財）都市緑化機構（7 名）、当法人（4 名）計 19 名 挨拶の後、相模原こもれびの活動紹介、意見交換会では参加団体である①市川山季の会②NPO 法人北本雑木林の会③国土交通省④ENEOS（株）の順に参加理由等の説明があり、それに対する質問等を行なった。①②の団体は当団体と同じ都市の森林を管理しているので、管理方法等で参考になるのではないかとということで参加された。また、国土交通省は「都市における緑地の保全及び緑化の推進」という観点から政策策定の参考にしたいという理由で参加された。ENEOS（株）は「みどりうむアクション」という活動を行っており、環境保護団体の支援を検討してきたが、第一回目となる助成金対象の活動として今回の見学&交流会とし、参加されたとのことだった 意見交換会後、昼食を取り、雨も上がったので、木もれびの森で活動地を視察することとなった。活動地視察は、①資材倉庫と機器の紹介、②薪割り機と手斧で薪割体験、③樹齢による木の成長状況と管理の方法を確認するため、小学校植樹地（植樹後 1.5 年）・どんぐりの里（同 7 年）・みんなの森（同 15 年）を案内した後、イヌシデ広場にて解散した 参加した 2 団体の活動地でも高齢化し大径木となった森の管理方法に悩んでおり、当会の若い森を目指した萌芽更新管理は参考になったため、別の会員を連れてまた来たいとのこと。（公財）都市緑化機構からは急な見学会のお願いだったが、充実した会合になったことを感謝された。		
			
当団体の活動紹介		みんなの森で「萌芽更新」を観察	